



つゝじヶ丘だより東京

つゝじヶ丘同窓会東京支部会報

【発行】函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会東京支部 【会長】折田 信一
〒136-0071 東京都江東区亀戸9-10-1-1517 TEL/FAX：03-3638-3523
メールアドレス：tutujigaoka2022@googlegroups.com
【制作】斎藤広告企画室 【題字】細見 紀子(14回生)

ホームページURL
<https://td-tokyo.com>



第19回 総会・懇親会 特集号

特別寄稿

志高く、未来を創る、 魅力ある人づくり」に 取り組んでまいります

函館西高等学校長

古御堂 徹



つゝじヶ丘同窓会東京支部の皆様に対しまして多大なるご理解とご支援を賜

り厚くお礼申し上げます。

本校から見下ろす八幡坂、そして函館湾は、これまでと同様に美しく、多くの観光客を魅了しています。特に、函館港に入港する令和6年度のクルーズ客船は59隻を予定しており、過去最高を記録しています。外国人観光客は、観光のメインゾーンであるハリストス正教会や八幡坂を擁する西部地区にまで足を延ばすことから、本校の周辺地域は今後さらに活気づくことが予想されます。

一方、人口30万人を誇った函館市は、令和6年1月末日付けの人口が24万人を割ったと大きく報道されました。特に西部地区は人口の急減が著しく、空き家も多くなつており、地域の活性化が課題としてあげられています。函館市は

人口減少対策本部を発足するなどして、各種施策において全庁横断で総合的に課題解決に向けた取り組みを行なっているところです。

このような函館市の状況を踏まえ、私たちは地域の学校として「函館に何かしてもらおうのではなく、私たちが函館に何かできないか」と考えて、教育活動に工夫を凝らしています。特に、「探究活動」(自ら課題を設定し、解決を図る学習)を推進し、地域の課題解決に向けた取り組みを行なっています。その例としては、伝統野菜である「亀田赤カブ」を活用した地産地消に向けた活動を行なうほか、1年次生全員が西部地区のよさを発見し、まとめ、広く周知するなどの活動を行なっています。

また、地域と連携・協働した取り組みとして、昨今の大規模災害を想定し、近隣の幼稚園と避難訓練を行なったり、関係機関の協力を得て模範避難所の開設をしたりするなど、防災教育にも力を入れています。さらに、今年4月には20周年を迎えた「函館西部地区バル街」で地域活性化に一役買うため、書道部の展示や茶道部のお点前を披露するなどして、本校の教育活動を広く周知したところです。

さて、このような特色ある教育もさることながら、生徒たちは学習や部活動で着実に成果を残しています。令和5年度卒業生の進路状況は進学率が92%となり、特に国公立大

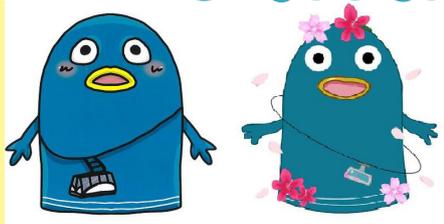
学の合格者は31名を数えました。また、部活動においては、放送局と文芸部が、令和6年度全国高等学校総合文化祭へ出場することとなっています。これから行なわれる部活動等の各種大会においても顕著な成績を残すことができるように生徒たちは日々取り組んでいます。

これまでの西高は、同窓生の皆様のような魅力ある人材を数多く輩出してきました。これからの西高も、地域を思い、未来を創造する「魅力ある人づくり」に向け取り組んでまいります。そして、卒業後には「函館に住み、まちの未来を考え、支える人」のほか、「函館以外に居住し、函館の応援団として活躍する人」を輩出する所存です。

これからも志高く、未来を創る函館西高校へのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

函館西高
公式キャラクター

まりんてん



2024年4月より登場の函館西高のイメージキャラクターは美術部が制作。西高のスクールカラー「ウルトラマリンブルー」と函館山の「マウンテン」をかけて『まりんてん』と命名されました。

5年ぶりの 笑顔の出会いを祝して

つゝじヶ丘同窓会東京支部会長
折田 信一(18回生)



このたび、実に5年ぶりとなる『つゝじヶ丘同窓会東京支部の総会&懇親会』を開催できますことは、私にとっても大きな喜びです。私が会長に就任したのは5年前の6月。その1ヶ月前には、椿山荘で220名の出席者を集めて第18回総会&懇親会が盛大に開かれ、前会長の佐々木太郎さんよりバトンを受け取りました。

ところが、翌年1月、皆さまもご存じの通り、中国武漢に端を発したコロナ禍騒動が世界を席巻し、あらゆる行動が制限、制約される事態になってしまいました。こんな事態が起こるとは誰が想像したでしょうか。2年ごとに開催予定の東京支部の総会・懇親会も再三にわたって中止・延期せざるを得ない状況が続きました。

そうした中で、同窓会より少人数で開くことができ、三密を回避できる『Let's go 同期会』を提案、奨励させていただくことにしました。総会・懇親会の中止による停滞する同窓会活動の活性化を図るため、同期会を開催した場合に補助金を増額す

ることを決定しました。その甲斐あってか、昨年は9回生から32回生まで10件の同期会が開催されました。辛うじて人と人との繋がりを継続できたと思います。

同窓会はわずか3年間、同じ高校に在籍しただけという人の集まりです。しかしながら感受性豊かな多感で濃密な“青春真つ盛り”を共に過ごしたという連帯感があります。同窓会に参加させてもらって世代の垣根を越え、利害得失にとらわれず、人と人が繋がる貴重な体験をさせてもらっていると思います。

私は根っから“人が好きなので人と人が繋がり、その輪が幾十にも連なり変化していく同期会や同窓会に身を置くと、幸福ホルモンと呼ばれるオキシトシンが出て幸福な気分になれるのです。

新規会員の獲得が今後の課題

また、昨年から「新規会員獲得プロジェクト2028」を川瀬俊吉君(19回生)が中心になって立ち上げました。少子化と高齢化、さらに進学、就職などで上京する卒業生も少なくなり、会員数が減少してきております。何とか会員数の減少に歯止めを掛けるべく、新生西高在校生に対する取り組みからクラブ活動OB会、在京ふるさと会、出身小・中学校在京名簿など多岐にわたる手づるを利用し動き出しております。この

企画が成功裡に進んで会員数減少に歯止めがかかるのを見届け、私も後進に道を譲るつもりでおります。

このたびの総会・懇親会は、経費高騰など種々の事情によって、会場を変え日暮里駅前の「アートホテル

日暮里ラングウッド」において開催することになりました。本日、笑顔一杯の同窓生の皆さまにお目にかかれることが何よりの楽しみでございます。

母校だより

函館西部地区バル街の協賛企画に 西高茶道部と書道部が初参加

2004年に始まって函館の人気イベントに成長した『函館西部地区バル街』は今年20周年。4月21日(日)、協賛特別企画の一環として、西高茶道部と書道部が参加しました。

「若い世代は着物文化をつなぐ」函館西高とのバル街コラボをテーマに、会場は「地域交流まちづくりセンター」1階。着物姿の茶道部員が限定30席で一般の方にお茶を点てておもてなし。書道部は、着物の帯などを使った作品作りに挑戦して会場空間を演出しました。

さらに、地元ラジオ局『FMいるか』に、古御堂校長と茶道部2人、書道部2人の4人の女子生徒が出演してバル街とのコラボ活動を生放送でアピールしました。

こうしたイベント活動を通して、地域の活性化に一役買っただけでなく、生徒たちの部活動の励みにもなったようです。

(文 会報編集部)



▲茶道部の皆さん



▲書道部の皆さん



第19回 つゝじヶ丘同窓会東京支部 総会・懇親会 式次第

- 開催日 2024年6月23日(日曜日)
- 時 間 12時00分～15時00分
- 会 場 アートホテル日暮里ラングウッド
2F 飛翔の間
- 司 会 副会長 佐藤 雅英(18回生)

－ 総会 －

- ・開会宣言 副会長 佐藤 雅英(18回生)
- ・物故者黙祷 司会
- ・活動報告 学年幹事長 長谷川 好広(32回生)

－ 懇親会 －

- ・会長挨拶 会長 折田 信一(18回生)
- ・来賓紹介 司会
- ・来賓挨拶 函館西高等学校 校長 古御堂 徹様
- ・乾杯 つゝじヶ丘同窓会本部 会長 渡辺 俊二様(18回生)

< 歓談 >

- ・アトラクション 歌手 島 あきの(堂下 則昭 元西高校長令嬢)
北島三郎プロデュース 七飯町出身
- ・抽選会当選番号発表 司会
- ・校歌斉唱(高女・西高)
- ・応援歌 東京支部応援団有志
- ・閉会挨拶 学年幹事長 長谷川 好広(32回生)

北海道庁立
函館高等女学校校歌

一、巴の港朝夕に
出で入る船の帆柱の
しげき学問のかづかづは
世の海わたるみをつくし
教訓のまにまに難苦にたえて
誠實あつき女子とならむ

二、春は湯の川リリー摘み
秋は大沼舟遊び
冬は四方山白雪の
玉もて飾る銀世界
自然の靈気を吾身にうけて
清き操の女子とならむ



北海道函館西高等学校校歌

昭和26年(平成30年)

一、春は弥生の草萌えて
つつじヶ丘に花咲けば
流るる空の雲は淡し
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
自由の鐘の音 窓に鳴れば
情操をたもちて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと
巴の海に新潮の
岬をめぐる声はひびく
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
希望は生まれ 胸にみてば
大志をいだきて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風
栄枯の夢をうたえども
北斗の影は天にかかる
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
瞳は冴えたり いよよ深く
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西高等学校校歌

令和元年()

一、たくさんの友 ここに集まり
響き渡る 教会の鐘
この坂から 冒険を始めよう
大切な大切な毎日を 忘れないで
一歩ずつ 登って行こう
思い出ができるその時に
思い出ができるその時に
ともに広くともに広く
海を見よう

二、五稜の北の 光差し込み
照らしゆく 臥牛の山
この坂から 冒険を始めよう
大切な大切な想い出を 刻み込んで
雨が降り 虹が架かる
生きる翠を鮮やかに
生きる翠を鮮やかに
ともに広くともに広く
海を見よう

三、双つの線 結びはじまる
弧を描く 巴の港
この坂から 冒険を始めよう
大切な大切な年月を 胸に抱いて
風に乗る 語り合おう
瞳は深くまっすぐに
瞳は深くまっすぐに
ともに広くともに広く
海を見よう

函館西高高等学校応援歌 No.2

一、臥牛山麓 風荒く
怒涛逆巻き 狂うとも
たゆまぬ健児が 血と汗の
日頃の力を示すは今
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ

二、つつじヶ丘の西高に
試練重ねし 幾星霜
母校の名誉は 双肩にあり
勝利は常に 我にあり
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ



第19回総会・懇親会 出席者一覧 (5月24日現在)

【来賓】(敬称略)	函館西高等学校長 ◎つゝじヶ丘同窓会 ◎臥牛会 ノンフィクション作家	古御堂 徹 本部長 渡辺 俊二(18回生) 関西支部会長 中谷 基(20回生) 札幌支部長 竹林 進(19回生) 白楊ヶ丘同窓会東京支部 支部長 白川 正広 関東青雲同窓会 幹事長 土肥 健作 東京函商同窓会 副会長 原 秀子 函工同窓会関東支部 支部長 本間 和吉 中澤 雄大
-----------	-----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【会 員】(同回生はクラス順)

<p>高女36 羽賀 桃枝(同伴 羽賀 一枝) 西高1 茂木 誠子、松本 洋子 西高3 高橋 幸夫 西高4 柴田 哲夫、郷内 繁、木寺 章 西高5 小野寺 忠之、吉田 修三、太田 香澄、 長澤 慎二、平山 泰子、塚本 睦子 西高6 笠川 雅彦、奥村 峻之、 東郷 豊(夫人同伴)、時田 八郎 西高7 土井 功 西高9 北川 佳子 西高10 陳 和子、中居 英樹、福井 達郎、 小嶋 俊昭、丹羽 早智子、竹岡 亮三 西高11 田村 宗夫、菅原 靖夫、岸田 信高、 若林 英毅、神田 敢司、新井 眞沙子、 村上 良子、深江 雅子 西高12 山崎 マリ子、猿賀 清一 西高13 根本 弘子、石川 増子、金谷 忠勝、 堀口 六壽、高野 教子、広田 悦子、 三村 寿雄、炭田 美規子、坂本 幹男、 斉藤 勝美、大久保 吉郎、花木 瞳 西高14 若松 伸司、若松 明子、佐々木 太郎、 佐々木 一博、木津 則子、平田 敦子、 堀内 洋子、新野 繁信、竹森 利則、 若林 郁雄、稲田 一郎、小板 俊昭、 山内 忠淳、吉見 芳彦、釜沼 勝宏、 辰村 新平、中村 宏子、細見 紀子、 斉藤 静江、中田 真樹子、岸本 智子、 楠八重則子、田端 冴子 西高15 熊谷 譲 西高16 猪 しまこ、滝口 清、佐々木 次郎、 鈴木 卓雄、野沢 孝一 西高17 後藤 優子、関口 やよい、大西 裕子、 山崎 雅司、坂口 百合子、林 道子、 池永 敏信、藪 道子、櫻田 俊行、 榎 房子、鴻池 佳衣子、梶原正夫、 松田 周二、竹澤 秀明、市野 修一、 岩片 文子、境 和子、丸井 啓子、 金濱 栄子、大塚 清子</p>	<p>西高18 折田 信一、中川 隆、浜勝信、林 陽、 藤井 正昭、河野 真利子、佐藤 雅英、 竹田 光男、馬場 政平、松田 邦男、 菊地 譲次、茅原 青子、花田 貴宣、 西田 吉克、酒井 哲美、吉田 厚、 陳 有崎、藤井 康二郎、上平 明、 佐々木 栄、渡辺 譲二、関口 精治、 伊藤 愛子、水上 幸江、岩瀬 友子、 山本 純子、杉本 雅邦 西高19 川瀬 俊吉、種井 三喜男、原島 邦子、 浅野 柳子、斎藤 善子、斎藤 映二、 高野 廣、藤谷 敏雄、渡辺 千里 西高20 南部 啓子、藤川 巖(同伴 三部 一枝)、 高木 知宏、井田 幸子、小熊 誠、 二階堂 功、山口 千香子、板垣 成人、 大友 理映子、渡辺 力 西高21 野呂 正司、青木 保、平 智則、 藤田 和巳、新井田 達郎 西高22 根本 修、大谷 雅彦、武石 義正 西高24 姥久手 崇、小林 多美、佐藤 好正、 矢野 幸男、野口 孝子、岸本 祐逸、 関口 信也 西高25 高橋 浩三 西高26 横山 泰治 西高29 熊谷 真弓、三上 昭子、桂本 真哉 西高30 溝淵 加代子 西高31 土矢 一如、中川 喜久則 西高32 長谷川 好広、伊藤 英樹、本間 雅子、 山越 准司、佐々木 直樹、高田 禎哉、 本間 貴之 西高33 菅原 博之 西高35 田村 幸康</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎出席者数 来賓9名、会員174名、同伴者3名、
総数186名

通信欄からのメッセージ

今回は返信ハガキと、初めてQRコードによる返信を採用しました。通信欄にメッセージを寄せた方は、欠席者83人、出席者54人です。

【欠席の方々のメッセージ】

森 アイ子(高女35)97歳になり足が弱くなりましたので欠席させていただきます。

清水 敦子(35)97歳となり車いす生活ですが、元気で穏やかな日々を過ごしております。

鳥本 玲子(37)同窓会のご案内ありがとうございます。体調不良にて欠席させていただきます。皆様にごよろしくお伝えください。

庄司 ヨシ(37)95才の現在も家族3人でいろいろ芳味をもって暮らしております。

堀井 禮子(37)95歳何とか自立で暮らしております。

成田 慶子(女子2)同期は90歳過ぎて近くは歩けるけど電車の乗り降りが大変の方ばかりで、同窓会はもう出席する事ができないと思います。

新谷 義克(西高1)事務局の皆様、ご苦勞様です。

江藤 美恵子(1)渡島半島、函館を

なつかしく思い出しています。

山田 幸平(2)埼玉県の老人ホームに入居中です。車いすで左手不自由、必死の毎日です。皆様どうぞお元氣でご活躍ください。(娘代筆)

増谷 純雄(2)横浜金沢八景から山形県に移って20年経過しました。
板倉 房子(2)施設に入居しました。

小島 将(3)出席の皆様によりしくお伝えください。外出するのが難しい年令になりました。ご盛会をお祈りします。

徳田 安正(3)足が不自由になり、遠出が出来ないので欠席します。頭は正常で、年末には「第九」をドイツ語で歌っています。

佐藤 たい子(3)元氣ですがチョット足を傷め痛いので失礼します。
高橋 秀演(4)待ちに待った同窓会ですが、残念ながら1ヶ月程前から腰痛がひどく電車で行くことが出来ません(何せ89歳ですから?)同期の方に宜しくお伝えください。

本間 弥四郎(4)急に予定が入り残念ながら欠席します。

藤代 カヨ子(5)皆様お元氣でしようか。残念ですが欠席です。楽しい会となりますように。

若林 高明(5)満87歳を迎えました。マイカーを駆ってボランティア活動中です。

安藤 広司(5)ご案内ありがとうございます。ここ数年思いがけないような健康の衰え、今は介護を受け

ながら在宅療養しております。

高橋 宏子(6)人工物の股関節に置きかえておりますので、ごくごく狭い行動範囲となっております。皆様どうぞお元氣でお過ごしください。

梅津 善徳(7)昨年母と妻を亡くし、一人暮らしですが、日常生活は何とかこなしております。毎週、土曜日の碁会が唯一の楽しみです。ご盛会を祈念いたします。

飯田 剛一(7)体調不良のため欠席します。ご盛会を祈念します。旭中学2年生担任英語教師三村正先生に大変お世話になりました。秋田県男鹿市に転居されましたが、30年前から連絡が取れていません。

増田 健三(9)久しぶりの同窓会開催ご盛会をお祈りいたします
亀谷 勝(11)体調すぐれず今回も欠席します。盛会を祈念します。

工藤 昇(9)身体が悪いので出席出来ません。83才になりましたが一人で生活しています。話し相手がいないのでさみしいです。

森 英爾(9)北海道旅行のため、欠席します。

三上 和彦(9)腰痛がひどくなり今回は辞退させていただきます。
奥山 吉彦(9)療養中なので申し訳ございません。

高見 康夫(10)残念ながら他の会とぶつかってしまった欠席します。事務局及び幹事の方々の御努力に感謝。

小松 二郎(10)体調不良のために欠

席します。

安藤 優一(11)体調が悪く出席できません。盛会を祈っています。
村岡 光祐(11)家庭の事情で欠席します。また行ける日を楽しみにしています。

林 潤(12)2022年4月暮じまいで帰函した際にクラスの仲間10数人が同窓会を開いてくれました。楽しい(多分最後の)集まりでした。

布施 健堂(12)久しぶりに開催の同窓会に出席と出したのですが、急用が出来て参加できなくなりました。悪しからずご了承ください。

最上 龍一(12)盛会を祈ります。
杉崎 紀美子(13)函館はいつも心の中にあります。函館の活性化を願う皆様のご健康を祈っています。

山崎 和雄(13)函館に行く日とぶつかり欠席です。毎日忙しく動き過ぎています。

中山 悦子(13)残念ですが都合により欠席させていただきます。皆様の健康とご多幸をお祈り致します。

天野 美秋(14)ボランティア活動の事業と重なっており申し訳ありません。残念です。

谷藤 千鶴子(14)ご盛会を祈ります。再会を楽しみにしていましたが腰痛のため出席できず残念です。

洞田 雅子(14)申し訳ありませんが、旅行のため欠席します。
出雲 紀久代(14)ご案内ありがとうございます。盛会をお祈りします。
勝亦 ミエ子(14)毎日、富士山の移

り変わりを見て過ごし、現在は富士山中腹まで雪化粧です。仲良しの友が静岡市に(函館市出身)います。**陳 有昭(14)**連絡をしていただきありがとうございます。盛会を祈念しています。

岩川 孝夫(14)幹事の皆様いつもご苦勞様です。同期の皆さんお元気でしようか。高齢と言われる年代になり足腰がすっかり弱くなり外出が厳しくなってきました。皆さんは、お元気で懇親会をお楽しみ下さい。**伊東 公子(14)**お誘いありがとうございます。家族の介護のため行けなくて残念です。

石本 康平(14)都合つかず欠席いたします。会の盛会をお祈りします。**東根 登志子(14)**ご苦勞様です。行けなくて残念です。ヨロシク!**宇治 コト(14)**若林さん、スタッフの皆様、お声がけありがとうございます。残念ながら出席出来ませんがこの機会を感謝します。**田中 彰子(14)**皆様どうぞお元気で!

佐藤 和子(14)ご苦勞様です。足が痛くて、残念ですが欠席します。**佐藤 一男(15)**当日、函館で法事があるので欠席させていただきます。**滝谷 秀人(15)**体調不良が続ぎ、遠出ができません。**坂本 睦子(16)**活動お世話様です。ありがとうございます。**熊沢 智(16)**会社をまだ営業しています。

成田 健三(16)地域のボランティアを頑張つてやっています。**松岡 俊治(16)**役員の皆様、大変ご苦勞様です。ご案内ありがとうございます。久々の同窓会ですが、旅行予約済みで参加できません。よろしくお願ひいたします。**平野 眞理子(16)**ご盛会をお祈りしております。

高橋 信一(17)もう少し現役で頑張ります!**岩山 真一(17)**幹事の皆様ご苦勞様です。他の行事と重なり出席できません。よろしくお願ひします。**佐々木 進市(18)**都合で欠席します。皆様のご健勝を祈っています。**増岡 真澄(18)**いつも欠席ですが、お世話くださる方々、本当にありがとうございます。

秋山 立子(18)高齢の夫の介護にあけくれておりますが、私自身は、病気もせず健康です。**浅野 まさ子(18)**皆さまの益々のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。**菅原 潔(18)**元氣です。いつも連絡ありがとうございます。**佐々木 佳子(18)**今回は都合がつきませんでした。

黒澤 潤一(18)当日は予定が入つていて残念ながら出席できません。皆様のご健勝と同窓会のさらなる発展をお祈りいたします。**高宮 登美(18)**やはり日曜の午後からの参加は無理です。土曜日ならば

飲んでも大丈夫なのですが。増山 由美子(19)体調が悪く今回は残念です。またの機会に。部活はマインナーな文化部でしたが、脳みそが溶けてしまい思い出せません。**山田 義和(19)**都合が悪く欠席させていただきます。検査漬けですが頭以外は健康でいます。皆様のご健勝をお祈りしております。

栗原 陽子(19)久しぶりの総会&懇親会開催おめでとございます。残念ながら札幌に帰省のため、欠席させていただきます。**中居 洋子(19)**同窓会をやつと開催できることになりお喜び申し上げます。4月18日に左目の手術し、今月末にまた片目を手術します。安静にする時期なので申し訳ありませんが欠席します。楽しいひとときお過ごしください♪

桜井 雅幸(20)帰省予定で欠席です。マア元氣にやっています!!**上原 佳子(20)**ご盛会をお祈りいたします。**眞鍋 宗孝(20)**ご案内ありがとうございます。京都検定挑戦中です。試験日と重複します。**矢澤 弥生(20)**コロナあけで会議や会合がふえて家業の時間が削られています。残念ですが欠席です。

物永 淳子(22)いつもご案内ありがとうございます。**西山 和子(23)**この度の開催おめでとございます。娘の出産手伝いのため5月ニューヨークに行きますの

で残念ですが欠席いたします。**梅津 典純(24)**先に予定が入つており、出席できなくて残念。**北野 裕子(24)**結婚して46年、同じ年数栃木におります。夫、子供2人、孫2人(中1・小3)皆元氣です。6月に東京大沼会がありますので、そちらに出席予定です。皆様に宜しくお伝えください。

鈴木 直人(24)しばらくぶりの東京支部総会&懇親会ですが、都合がつかず出席出来ません。いつも、ご連絡ありがとうございます。**三品 弘利(26)**当日仕事のため欠席させていただきます。**野口 卓史(27)**5月から10日程度、函館牛乳で働く予定です。

【出席する方からのメッセージ】**茂木 誠子(1)**5年振りにお会いできる事、楽しみです。よろしくお願ひいたします。**松本 洋子(1)**弥生小学校を卒業してすぐ函館高等女学校に入りました。昭和20年に終戦。男女共学になつて函館西高1回生になりました。**木寺 章(4)**先に欠席のハガキを出しましたが、同期生2名の出席が確認されたので私も出席します。

吉田 修三(5)身体を補修すべきパーツが増えて来ておりますが、一応元氣にしております。**時田 八郎(6)**申し込みが遅くなり申し訳ありません。よろしくねがい

ます。

北川 佳子(9)懐かしい顔ぶれにお会いできるのを楽しみにしております。

中居 英樹(10)久しぶりの再会を楽しみにしています。

小嶋 俊昭(10)元気ですヨ!

竹岡 亮三(10)案内ありがとうございます。82歳元気でやっています。皆様にお会いするのを楽しみに待っています。

神田 敢司(11)ウォーキング、スクワット、庭木いじりで身体を動かし、家ではもつぱらドジャースの大会の応援。夜はスコッチのハイボールをたしなむという日常です。

村上 良子(11)楽しみにしております。

岸田 信高(11)私も81才になりました。同級生には82才の方もおられます。元氣にお会いできることを望んでいます。

山崎 マリ子(12)幹事の皆様、お忙しい所ありがとうございます。若い頃から病院とは縁が切れませんが昨年ヘルニア、乳がんの手術、放射線も無事終わりましたので昔の知人にお会いしたいと思います、頑張つて参ります。宜しくお願い致します。

根本 弘子(13)コロナ禍が終了、皆様とお逢いする久し振りの同窓会開催楽しみです。皆様からのパワーを頂きたいです。

石川 増子(13)ヨタヨタしながら、まだ働いています。

堀口 六壽(13)久し振りの開催通知

に心躍る気持ちです。能登地震で私の住む新潟市西区も大災害となり、我が家も被害を受けました。ただ茫然とオロオロする毎日でした。数日たつて同期の斎藤勝美君の励ましの電話があり、何よりの心の支えとなりました。

斎藤 勝美(13)幹事さんご苦勞様です。

大久保 吉郎(13)多少足元がヨタつきですが、ジムトレで現状維持を目指しています。

釜瀧 勝宏(14)今、一生懸命にやっている事は①朗読活動(視覚障害者へのボランティアと朗読教室の講師)②映画鑑賞(年間110本)・・・満78歳の年齢のわりに健康な方です。

小坂 俊昭(14)久しぶりの同窓会心待ちです。

平田 敦子(14)初孫誕生で忙しいながら、幸せな日々をすごしております。体調を整え、皆さまにお目にかかるのを楽しみにしております。

中村 宏子(14)ご連絡有難うございます。よろしくお願い致します。

稲田 一郎(14)単身赴任12年を終え多摩に戻る。東日本大震災を郡山で体験。この3年ウォーキング1万歩が日課。寿大学でパソコン講座を受講しています。

熊谷 譲(15)昭和40年卒業で初めての参加、楽しみにしています。

猪 しまこ(16)大変お手数をおかけいたしました。

滝口 清(16)久し振りの会、楽しみにしています。

大西 裕子(17)東京支部事務局の方のご尽力に感謝します。

池永 敏信(17)年相応に毎日プールへ行つて元気に過ごしています。

榎 房子(17)陶芸同好会に入つて3年。のんびりマイペースで土を練り出れ具合に一喜一憂しています。

竹澤 秀明(17)久しぶりに楽しい時間を。

市野 修一(17)身体のあちこちにガタが来てしんどい毎日。でも努めて歩くようにして頑張る毎日です。

馬場 政平(18)5年ぶり、楽しみにしています。

松田 邦男(18)朝6時よりNHKラジオ才講座(英語)で一日のスタートです。「中学英語」で学び直しの第2の人生です。合間にイチゴを少し作っています。

茅原 青子(18)いつもご連絡ありがとうございます。たぶん出席できると思っています。右腰が痛いですが。

中川 隆(18)5年ぶりの皆様との再会をとて楽しんでしています。

関口 精治(18)何とか生きています。

藤井 康二郎(18)東京支部出席は初になります。お手柔らかにお願いします(笑)

上平 明(18)函館で観光ボランティアガイドとして楽しく活動しています。今年クルーズ船が58隻入港予定で忙しくなりそうです。

岩瀬 友子(18)長かったです。心待ちにしています。早く皆さんと会いたいですね!

花田 貴宣(18)お久しぶりです。

西田 吉克(18)楽しみです。

菊地 讓次(18)久しぶりの同窓会、楽しみにしております。

渡辺 俊二(18)函館本部会長をしております。当日は大変楽しみにしております。よろしく申し上げます。

山本 純子(18)同窓会楽しみにしております。

伊藤 愛子(18)5年ぶりの同窓会案内目を向け戸惑う一瞬!5年の月日が歳を重ねて...

酒井 哲美(18)東京で2年間仕事をし、東京支部に在籍したことがありますが。函館からの出席を継続できるように頑張ります。

川瀬 俊吉(19)5年ぶりに皆さんと元氣にお会いできるのを楽しみにしております。

金谷 守康(19)先日出席の返事をしましたが、都合で欠席します。よろしくお願いたします。

南部 啓子(20)皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。最近ホームニカを始めました。

小林 多美(24)晴れるといいですね。

佐藤 好正(24)楽しみにしています。

矢野 幸男(24)挫折の連続で胸を張つて皆様の前には出られないのですが、よろしくお願致します。

佐々木 直樹(32)久しぶりの開催なのでとても楽しみにしています。

田村 幸康(35)初めての参加になります。当日楽しみにしています。どうぞよろしくお願致します。

同窓生の広場

連絡船の唄



広瀬 菊枝
(16回生)

♪ 思い切れない未練のテープ、切れて切れない女の恋心♪ (『連絡船の歌』菅原都々子) から『涙の連絡』(都はるみ)まで、数多くの連絡船の唄が日本中で流行しました。わが町と内地を繋ぐ青函連絡船は昭和の象徴です。

私の乏しい昔の記憶では、棧橋横に係留していたホテルと食堂の景福丸。私は一度も乗ることはありませんでしたが、外国人も見かけ、港の雰囲気満載の異国情緒があり、映画のシーンの中に入ったような錯覚に浸った記憶があります。

景福丸を左に見ながら棧橋の階段を上がりきると、暗くて広い待合室。壁側は木製の暗い仕切り衝立があり、靴磨きのおじさんが働いており、一見お金持ちのおじさんが一段上の段に上がり、靴を磨かせておりました。連絡船の待合室は乗船する人、下船する人、見送る人、迎える人、

函館 箱館
ちよびつと昔語り⑩

客引きの宿屋の番頭さんがごった返し。人の臭いと、スチームの臭いでムンムンしておりました。行商のおばちゃん方、特に自分の体重の数倍の米を背負い海峡を行き来するおばちゃんの逞しさ。日本中が元気百倍の時代でした。

◀ かつぎ屋の女性によって、青森からは米、函館からはスルメや塩鮭などが青函連絡船で運ばれた。
撮影/金丸大作氏



①『菅原都々子/連絡船の唄』は1951年テイチクから発売されて流行歌に②青函連絡船の無線通信士だった金丸大作氏撮影の写真集『青函連絡船の記録』(2006年生活情報センター刊)

五段階ランクの客室

連絡船内はランクが五段階の客室があったのでしょうか。ロイヤル、ハネムーン、一等、二等、そして三等室は船底。(私の「三等席」はここからきています。ワイワイしていて

レベルが低いこと。子供達が騒がしいと、父が「コラー三等席! 静かにしろっ!」と叱られたものです)

私たちはもちろん三等室。でも、白い詰め襟のボーイさんが丸いお盆にお茶を持ってきてくれると、誰かがお盆の脇に5円か10円のチップ? をそっと置くのです。かっこいいなと子供心に思いました。

そして、いよいよ船が棧橋に着岸しそうになると赤帽で制服のおじさんが、これも一見お金持ちそうなお夫婦と、乗り継ぐ列車の席まで、長い棧橋から旅荷物の運搬依頼のやりとりをします。間違いなくお客より先回りして確実に荷物を運ぶ仕事魂に感心したものです。もし現在そのようなことがあったら間違いなくNHK『プロジェクトX』の主題歌中島みゆきの『地上の星』であります。今考えてみると、棧橋に行き交う働く大人はみんな『地上の星』だったに違いありません。

宿代わりの連絡船

私は昭和40年代によく青函連絡船を宿代わり宴会場代わりに利用しました。仲間と八甲田山登山の時は深夜零時の連絡船でひと眠り、早朝バスで酸ヶ湯温泉。八甲田大岳から下山後はバスで青森、連絡船に乘船して反省会と称して車座になり宴会。ひと眠りして早朝の函館棧橋から直接会社へ出勤。若いときはこんなこ

とが平気できました。今はスピードが重視され、こんな時間たっぷり行動はあり得ないと思います。が、今となっては私の貴重な思い出です。

何故か涙の連絡船

連絡船全盛の頃は、内地の親戚が来函すると必ず連絡船棧橋に家中で見送りに行くのが家族の恒例行事(?)で、なぜか一張羅の服を着せられ、五色の紙テープを持たされ、親戚の立つデッキに向かってテープを投げ、別れを惜しみました。なぜか涙が出るのです。

中学の修学旅行夏編は十和田湖。出港5分前、ボーイさんがドラを鳴らしながらデッキを回ると同時に「蛍の光」のメロディが流れます。気分はもう完全に映画女優、悲劇のヒロイン。静かに船が岸壁を離れると涙ポロポロ、ウルウル。あさって帰って来る、のにです??



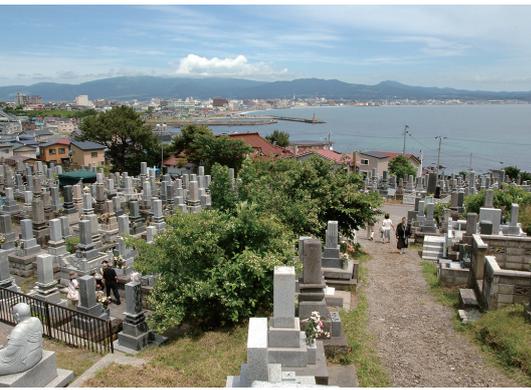
青函連絡船の出航時には、船客から棧橋で見送る人に向かって紙テープが投げられた

同窓生の広場

函館住吉共同墓地に
眠る偉大な先輩——
馬場みつさん（高女13回生）

私は8年前から市内の観光ボランティアガイドとして、五稜郭公園を中心に内外のお客様を案内しています。そのためには函館や道南に関する新たな知識や情報の入手と蓄積を欠かすことができません。その一環として、様々な講演会やイベントなどに可能な限り参加しています。なかでも「箱館歴史散歩の会」を主宰する中尾仁彦氏が案内する「函館ぶら探訪」には毎回のように参加し、郷土の歴史について学んでいます。

2023年10月15日(日)の函館ぶら探訪「住吉共同墓地の墓・立待岬



▲函館市営住吉町共同墓地
写真提供／はこだてフィルムコミッション



上平 明
(18回生)

の碑巡り」では、思いがけず郷土に貢献した偉大な先輩の存在を知ることができたので紹介します。



▲馬場家の墓

明治初年(1868)に
設置された住吉共同墓地

立待岬の近くにある住吉共同墓地は、明治初年に船見町墓地(外国人墓地近く)が飽和状態になったことから新たな墓地として設けられたところだ。今では、石川啄木一族など著名人の墓があることで有名ですが、当時は辺鄙な場所でも市民の利用がなかなか進まなかったといえます。その墓地に西高の前身である函館高等女学校(高女)第13回生(大正10年卒業)の馬場みつさんの墓があります。

東京・文京区に
眼科医院を開業

みつさんは高女を卒業後、東京医学専門学校(現東京女子医科大学)に進学。卒業後は東京都衛生局や都内の病院勤務を経て、1975年(昭和50)、文京区向丘に「追分眼科病院」を開業しました。生涯、独身を通して医師の仕事に粉骨を注ぎ、2003年(平成15)に99歳で亡くなっています。

彼女は、「私が今日あるのは亡父と函館のお陰で、医師になれて一生懸命仕事に邁進できました」と故郷への思いをつづっています。そのお礼にと、遺言によって遺産の現金2億7000万円と都内の土地建物は函館市に寄贈されました。3億円以上の寄付は函館市で初めてのことで、市は「馬場みつ基金」を創設して福祉事業などに今も役立てています。東京支部の会員の中には、文京区にあった追分眼科病院で馬場医師にお世話になった人がいるのではないのでしょうか。



▲北海道庁立函館高等女学校の校舎(大正10年頃)

父と弟も函館で活躍

「馬場家之墓」は、1999年(平成11)にみつが再建したもので、墓の裏面に「みつ」のほか「民則(たみのり)」「修」の名が彫られています。馬場民則は彼女の父です。

箱館開港後に徳川幕府が蝦夷地の開拓と警備にあたる者を募集し、それに応じて七重(現七飯町)に入植したのが八王子千人同心(注)ですが、民則はその一人でした。

民則は、函館ハリストス正教会司祭や東京ニコライ堂司祭ニコライからロシア語などを学び、のちに法律も学んで代言人(現在の弁護士)となり、函館で活躍しました。さらに、弁護士会長、函館区議などを経て、明治31年に同志とともに函館毎日新聞社を興しています。

また、馬場修は、民則の三男で日本歯科大学を卒業後渡米し、デジタルカメラで学位を取得しています。東京で歯科医として開業したものの6年で廃業し、少年時代から興味のあった考古学に専念。択捉、北千島、樺太で調査を続け、集めた資料は「馬場コレクション」として重要有形民俗文化財に指定され、函館市北方民族資料館に展示されています。

注：八王子千人同心とは、幕府直轄領である武蔵国多摩郡八王子(現・東京都八王子市)に配置された譜代旗本およびその配下の譜代武士(譜代同心)のことで慶応4年に解散した。

八幡坂の思い出

陳 有崎
(18回生)

函館西高は八幡坂の突き当りに建っているのですが、この坂は通学路ということになる。教科書、クラブ活動の道具に弁当とやら荷物が多く登校の坂道はきつい。遅刻しそうなぎりぎりの登校なので学校の玄関は混み合う。生活係が時間通り厳密に扉を開きずと、入れなかった生徒は遅刻と判定され、学生証を取り上げられ、担任から小言付きで返ってくる。しかし気のきいた生活係だと直接返してもらうこともあった。



美脚の女生徒との出会い

坂道を男女生徒がぞろぞろ登るのだが、すぐ前を美脚の女生徒が歩いていたりすると、何故か嬉しくなり登校も苦にならない。今で言うストローカミたいものか？ その女生徒は同期だが、クラスが違っていたので在学中に一度も声をかけたことはないし、かけられることもなかった。かなり後になって同期会などで会って挨拶ができるようになった。

同期会やクラス会は利害関係なしの懐かしさで気軽に言葉を交わすことが出来るとわかり、私は率先して出席しているし参加を呼びかけてもいる。いつの間にか同期会の会長を引き受けて約10年経った。その間2回の同期会を開催し、コロナ禍で様々な催し物が中止され、最後の同期会は何時になるやらと今は思案している。

卒業式に出席せずに卒業

私は7人兄弟の末っ子で、兄や姉は長男を除いてみな西高で、中学卒業後も憧れの西高へ迷わず入学した。しかし無事3年間で卒業したものの、卒業式というものに1度も出席していない。1年の時は会場が狭いため1年生は参列しないことになっていった。2年の時はいつものように遅刻しそうな時間に校門を潜ろうとしたら、友人が待ち構えていて「知人の親の緊急手術のため輸血が必要だから」と近くの市立函館病院へ連れていかれ、献血して生卵を飲まされた。運動部に所属していたので体力を見込まれたらしい。

いよいよ3年になり卒業式を迎える事になったが、何故か学校の式典に反抗したくなり、友人を誘って仁山スキー場の山小屋で卒業式の朝を迎えることにした。卒業証書は後輩がスキーを担いで山小屋まで届けてくれた。生意気にも母校と絶縁宣言したようなものであった。

卒業年度は1968年(昭和43)。その前年から首都圏では70年安保闘争を見据えた学生運動がくり広げられ、10月には羽田空港付近でデモ隊と機動隊との衝突が流血惨事のニュースとして地方の高校生にも強い刺激を与えた。西高でも自衛官募集のために現役自衛官が広報活動に来校するという噂が流れ、ベトナム反戦を考える有志が集まり、学校側

に説明を求める集会を開いたりしたこともあった。勉学を多少疎かにしても、こんな活動は当時の世相を反映して勝手に正義漢ぶって清々しい気分浸っていたようだ。

一方、同期で小説家を目指していた佐藤泰志は、1967年流血の羽田闘争などの学生運動を的確に捉え、『市街戦の中のジャズメン』という小説を書きあげ、有島文学賞を受賞したのは鮮明な記憶として残る。1歩も2歩も前に行く同期生にただ驚嘆し敬服するのみだった。高校生活は70年安保の始まりで否定され、海峡を渡り上京すれば何とかなる、理想の社会改革に参画できると思っ込んでいた。青年特有の美しき妄想かと反省することしきりである。

淡い恋の坂道

ところで、くだんの美脚の女生徒のことだが、昨年8月、東京で急逝した。菩提寺の高竜寺に納骨することになり、ほとんど縁がないのに、私は焼香に参列させてもらった。コロナ禍中であり、参列者は高校同期の何人かと遺族の娘さん2人だけの少人数の葬儀だった。弔いが終わると会話もなく解散となり、美脚の面影を残す娘さんの後ろ姿を見届け、寺から退出した。

青春の坂道での淡い思い出はかくして永遠に封印された。

(同人誌「恒河沙」より転載)

2023年度は、延期された総会&懇親会に代
 わって同期会を開催した場合に補助金を増額
 する『Let's GO同期会』を実施。10件の
 ご利用があり、ご好評をいただきました。

お元気ですか?

回生だより

Let's Go同期会 開催報告

9回生(昭和34年卒)



'23年6月5日開催

13回生(昭和38年卒)



'23年11月24日開催

14回生(昭和39年卒)



'23年11月30日開催



16回生(昭和41年卒)



'23年11月12日開催



18回生3年5組クラス会
(昭和43年卒)



'23年5月17日開催

17回生(昭和42年卒)



'23年6月8日開催



21回生3年9組クラス会
(昭和46年卒)



'23年8月10日開催

20回生(昭和45年卒)



'23年12月3日開催



32回生(昭和57年卒)



'23年12月16日開催

24回生(昭和49年卒)



'23年9月18日開催



新シリーズ「大川橋物語」

名倉流骨つぎ師、江戸を生きる



作家 森真沙子 (11回生)

日本橋、柳橋と書いてきた私の橋シリーズ。次は隅田川の橋と考え、川べりをそぞろ歩いて閃いたのが、大川橋(吾妻橋)です。

ちなみに大川端に生まれ、この川を深く愛した芥川龍之介は、「大川は、東京という大都会を静かに流れているだけに、その濁って、皺を寄せて、気むづかしい猶太の老爺のように、ぶつぶつ小言を言う水の色が、

如何にも落ち着いた、人懐かしい、手触りのいい感じを持つている……」と『大川の水』に書いています。

関東平野をうねり下つてきたこの元利根川に、気難しくも暖かい「ユダヤの老人」を視た芥川の観察眼、まさに感動ものですね！

利根川本流を千葉に移して江戸をつくった家康は、この大川に千住大橋しか橋を許さなかった。でも没後百五十年の間に、五つの橋が架けられ、その最後の橋が大川橋です。西の浅草と東の本所を結び、町人文化の爛熟を援けた橋ですが、御一新の後に、吾妻橋と名が変わりました。

文化文政期大流行の骨つぎ名倉

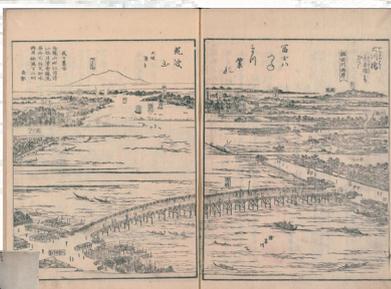
町人文化が花開いた文化文政期に、大流行したのは歌舞伎、相撲、落語ですが、もう一つある。「骨つぎ名倉」なる接骨院です。骨つぎが？と驚くなかれ。戦がなくなつて、武



▲東都名所内 隅田川八景 吾妻橋帰帆(歌川広重)

士と武術が力を失っていった時代、その柔術に、再生の道を見出した傑物がいた。鎌倉武士の末裔「名倉直賢(なぐら・なおかた)」です。中国伝来の柔術には、「殺法」と「活法」を表裏一体として発展した懐の深さがある。直賢はそこに着目し、「殺法」を捨て「活法」を体系付けたのが「名倉流正骨術」。さらに「人助け」を家訓とし「医は仁術なり」の剛直な姿勢を貫いたため、江戸で大人気となりたちまち千客万来。職人から、火消し、役者、芸人、相撲取りまで押しかけた。

「名倉は、どぶ板で名倉(なぐら)れましたと駕籠でくる」と川柳にも詠まれ、また打身や骨折の代名詞にもなったとか。



▲江戸名所図会(巻之七 搖光之部)大川橋(国立国会図書館デジタルコレクション)

▼江戸時代の骨つぎ治療の様子



異能の骨つぎ師が主人公

そんな時代を生きる主人公は、直賢を師と仰ぐ一色鞍之介。患部を探り当てる指先に、独特のパワーを秘める、異能の骨つぎ師です。友が長崎遊学で、最新の蘭学を収める時、自分は昔ながらの武術に励み、名倉流正骨術を学ぶ。師に反抗して千住の名倉本院を出て、大川端に名倉堂を開いた鞍之介が大川に視る顔は……。

「骨つぎ名倉」はその後、幕末を生き抜き、明治には森鷗外の『渋江抽斎』にも登場しています。医療の近代化にも敏感で、レントゲンをいち早く活用し、「整形外科」の祖とも言われ、今も千住名倉は健在です。そんな名倉家に縁もゆかりもない私ですが、骨をつぎ、人をつなぎ、時代をもつないだ歴史が面白く、小説に紡いでみたくなりました。



『大川橋物語1「名倉堂」一色鞍之介』
(二見書房時代小説文庫)
詳細は森真沙子ファン倶楽部
<https://morimasako-world.jimdo.com/>

かわら版

西高出身の作家
『佐藤泰志』の
ドキュメンタリー映画

市街戦のジャズメン

作家佐藤泰志の衝撃



稲塚 秀孝

(いなづか ひでたか)

1950年北海道苫小牧市生まれ。中央大学文学部哲学科卒業。1973年、(株)テレビマンユニオン参加。ドキュメンタリー、ドラマなどを制作。1985年独立、現在はタキオンジャパン代表取締役。公開予定の作品に、『母と子の絆～カネミ油症の真実』(ダイオキシソノ類が混入した食用油が原因の食品公害の連鎖は今も続く。'24年10月公開予定)、『幻のかくめい～サークル村と大正闘争』(谷川雁や森崎和江らの知識人と炭鉱労働者による労働運動を問い直す。'25年4月公開予定)。



1967年10月8日の羽田闘争

佐藤泰志(1949～90年)が函館西高3年生の時に執筆し、「有島青少年文芸賞」(1968年、主催/北海道新聞社)に応募して優秀賞を受賞した小説『市街戦のジャズメン』。この作品を軸に高校生時代の佐藤泰志とその時代を探るドキュメンタリー映画の製作が進行中だ。監督は苫小牧出身の稲塚秀孝さん。

「実は、私も高校2年生の時に有島青少年文芸賞に応募して入選。その時の優秀賞が1学年上の佐藤泰志さんでした。優秀作は本来、北海道新聞に掲載されるはずなのに、高校生にふさわしくない作品との理由で掲載されなかった。その3か月後に札幌で出版された『北方文芸』という発

刊まもない雑誌に載ったので、それを読んで衝撃を受けた。ひとつしか歳が違わないのに、これほどの作品をかける人がいるんだと……」

生前の佐藤泰志と直接会ったことはないが、それぞれが東京の大学に進んでから、佐藤が創刊した同人誌『立待』を取り寄せたり感想を書き送ったりして手紙での交流があった。

大学を卒業後、稲塚さんは映像の世界に進み、佐藤との交流は途絶えたが、『市街戦のジャズメン』を読んだ時のインパクトはずっと胸に刻まれているという。

「佐藤さんが亡くなられたのを知ったのは新聞を通してですが、市街戦のジャズメンも含めて彼のことをいつ

か映像として形に残したいという思いがありました」

2007年に『佐藤泰志作品集』(クレーン出版)が出版され、2010年には佐藤泰志原作『海炭市叙景』が映画化。1990年に41歳で命を絶った作家が20年経って、作品が次々と復刊や映画化され再評価が高まった。

2013年、稲塚さんは佐藤泰志の人間像に迫るドキュメンタリー映画『書くことの重さ』作家佐藤泰志を製作して全国公開。好評を得た。

「市街戦のジャズメンは、佐藤泰志のデビュー作と言っている作品。高校生だった佐藤が、全共闘運動や反戦運動の広がりなど当時の社会状況からどんな影響を受け、作品に反映させたのか。早熟な才能を發揮した作家の原点に迫る映画にしたい。」

再現ドラマとドキュメンタリーで構成

また、作品のモチーフになっているのが、1967年10月8日の羽田闘争。当時の首相・佐藤栄作の南ベトナム訪問を阻止しようとして全学

連が機動隊と衝突、京大生の山崎博昭君が死亡した。

「同世代の若者に大きな衝撃を与えた事件であり、記録的な意図もある。若者たちが社会変革を夢見たあの時代の熱気、匂いや空気を今の若者に感じ取ってもらえたらとの思いもあります」

映画は、関係者へのインタビューなどのドキュメンタリーと再現ドラマで構成する。ドラマ部門の出演者は、一昨年、高校生を対象にオーディションを実施し、佐藤泰志役は西高3年(当時)遠藤大介さん、友人の関口精治役に同3年(当時)小川俊さん、女性の友人役にも女子高生が選ばれた。

昨年8月、ドラマ部分を西高やライブハウス、函館公園などでロケーション撮影を行なった。今後はドキュメンタリー部分の撮影を進め、来年6月頃の公開を目指している。

「この小説がなぜ高校生にふさわしくない作品とされたのか。主人公の高校生が煙草や睡眠薬を口にするのが問題だったのか、羽田闘争などへの関心が危惧されたのか。それも探ってみていきたいと思います」

青春の日の佐藤泰志との出会いは、稲塚さんをドキュメンタリー作家へと導いた原点のひとつでもあるのだろう。一人でもいいから、興味を持ち、見てくれる人間がいればいい。その思いでドキュメンタリー制作に取り組んでいるという。

来春の公開が待たれる。

(文) 井田ゆき子 20回生



『市街戦のジャズメン』採録
『もうひとつの朝 佐藤泰志
初期作品集』(河出書房新社)

事務局活動報告

事務局長 高田 禎哉(32回生)
(2023年5月~2024年4月)

◎本部・他支部及び

在京他高校同窓会との交流

札幌支部/23年6月24日(土)総会&
懇親会開催。折田会長出席
函館本部/23年10月7日(土)総会&
懇親会開催。佐藤副会長出席
東京臥牛会(在京高校同窓会連絡会)
/24年2月17日(土)折田会長、青木
副会長出席

青雲同窓会(東高)/23年5月27日
(土)総会懇親会開催。折田会長出席
函商同窓会/23年7月8日(土)総会
&懇親会開催。井田常任幹事出席
※函工関東支部同窓会、白楊ヶ丘同
窓会(中部高)、函館ラ・サール学園
同窓会はコロナ禍で中止に。

[2023年度 つゝじヶ丘同窓会東京支部 会計報告]

2023年1月 1日
至 2023年12月 31日

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額), 収入計, 支出計, 合計. Total revenue: 3,821,012; Total expense: 3,821,012.

[繰越金内訳]

Table showing carryover funds: 前日本郵政 2,736,655; 現金 42,818; 合計 2,779,473.

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

2024年1月15日

会計監査 14回生 堀内 洋子

◎学年幹事会

24年3月2日(土)。第19回総会&懇
親会開催、会報28号編集企画、新規
会員獲得プロジェクトなどについて
話し合い。

◎事務局会議

23年5月26日(金)会報27号発送作
業、第19回総会懇親会開催日や会場
についての話し合い。
23年6月17日(土)第19回総会会場選
定、開催の確認事項などを協議。
23年10月28日(土)総会開催の準備や
役割分担について打ち合わせ。

24年1月27日(土)学年幹事会のため
の資料作成、第19回総会スケジュー
ル、アトラクションなどの打ち合わ
せ、会報28号編集会議。
24年4月5日(金)第19回総会案内状
の発送作業、準備作業の進捗状況
確認、会報28号制作進捗確認など。

【学年幹事の皆様へ】

本日の総会&懇親会に7名以上出
席した回生が二次会(同期会)を行な
う場合は1万円、15名以上の場合は
2万円を補助します。ただし、出席
者数は、東京支部の年会費を納入し
ている方の人数になります。

また、二次会補助金は、当日、お
渡ししますので学年幹事は申し出て
ください。後日、補助金申請書(ホー
ムページからダウンロード)に写真
を添えて提出をお願いします。

■おくやみ

23年5月~24年5月までに事務局に
連絡をいただいた逝去された会員で
す。謹んでご冥福をお祈りします。

- 清水敦子(高女35)、加久智恵(35)、
高田澄子(36)、江沢妙子(37)、栗原
達子(37)、亀岡喜久代(38)、白幡栄
子(38)、竹元和子(40)、保谷睦子(40)、
田代展子(40)、齊藤宏幸(西高2)、
伊藤欣子(2)、本庄淳二(2)、畑中
誠治(2)、廣田昌裕(2)、田中明夫
(2)、小西勇作(2)、小野八郎(2)、
山村勉(3)、丹羽清之助(4)、粕谷
陽子(5)、菊地寛子(5)、岡宏(5)、
西野省三(6)、平山美津子(6)、入
村恭助(8)、小田征信(8)、渡辺英
子(8)、菊地順彦(10)、川崎弥生(10)、
甲斐中暁美(11)、植木清明(11)、中
井敬子(11)、角田優子(14)、綱裕子
(14)、千葉浩(16)、吉田守作(18)、
従二元久(18)、澤出隆(19)、西村佳
永子(22)、若松義一(20)

年会費納入のお願い

2023年度の年会費納入数は
366件。昨年度とほぼ同数の納
入数となっていますが、5年前に
は平均500件の納入数があった
ので26・8%の削減率になります。
さらに、少子化や高齢化、上京す
る卒業生の減少によって会員数も
減っており、活動を支える財政は
年々厳しさを増しています。

同窓会活動では、会報の発行、
ホームページの運営、総会・懇親
会の開催、他校同窓会との交流な
どを実施しており、その経費は皆
様の年会費でまかなわれています。
同窓生の皆様、同窓会活動を支
える年会費の納入に、何卒ご協力
のほどお願い申し上げます。

《編集後記》

コロナ禍を経て5年ぶりの開催で
会場や開催日の変更もあり、出席人
数が心配でしたが、180人以上の
方から出席通知が届いて一安心。出
席してよかったと喜んでもらえる会
にするために事務局一同精励格闘
準備中です。井田ゆき子(20回生)

